

私らしい巢まいと暮らし

トリノス

to - reno - su



[Vol.27] 2015年 秋・冬号

暮らしの豆知識

巢まいと暮らしの店 トリノス

はじまりのものがたり

巣づくりの現場から 第2回 -ガラス-

暮らしを、つなぐ。

Anest one

トリノスとは…？

名古屋でリノベーションを手掛ける株式会社アネストーンが

年に2回、春と秋に発行している季刊誌です。

アネストーン (Anestone) の名前の由来でもある「nest」は

日本語で「鳥の巣」、同時に「心地良い空間」という意味も持っています。

また「トリノス」の「リノ」はリノベーションの「リノ」。

「トリノス」では、「リノベーション」で手に入れた「心地良い空間」とともに

nest= 巣まいと、暮らしの情報をご紹介していきたいと思ます。

是非お手にとって、じっくりとご覧下さい。

目次

[特集①] 暮らしの豆知識

巣まいと暮らしの店 トリノス

はじまりのものがたり 02

[特集②] 巣づくりの現場から

第2回 - ガラス - 07

私らしい「巣まい」のかたち

・ UNEVENNESS(名古屋市名東区マンションT様邸) 11

・ brownie(名古屋市瑞穂区マンションK様邸) 15

・ RENTO(長久手市戸建T様邸) 17

・ liens(名古屋市昭和区マンションK様邸) 19

・ moderat(名古屋市昭和区戸建T様邸) 20

リノベーションの始め方 21



暮らしの豆知識

巣まいと暮らしの店 トリノス
はじまりのものがたり



アネストワンでは、今まで数多くのリノベーション案件を手掛けてまいりました。

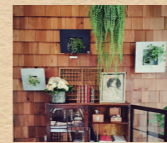
たくさんのお客様と出会い、共に空間づくりをさせていただき中で「ただ空間をつくるだけではなく、暮らしに寄添うライフスタイルまで提案していきたい」という思いが芽生え、大きくなっていきました。

今回その思いが形となり、アネストワンの提案する空間やインテリアを身近に感じいただける場所として、また暮らしを提案する場として『巣まいと暮らしの店 トリノス』が誕生することになりました。

内装のこだわり

アネストワンのコンセプトである“暮らしを、つなぐ。”をテーマに、本物の素材を使って、時と共に味わいを増していく空間になるようプランしました。

今回のプランで最も注力をついだオリジナルキッチン。扉は全て無垢のナラ材、取っ手もオリジナルのものです。そして天板に使った『モールテックス』という材料は、ベルギー生まれの素材で、見た目はコンクリートのようになり、耐水性や施工性に優れています。ぜひ触って確かめて下さい。



“鳥の巣の中”にいるような柔らかな印象にするため、天井や壁などにできる角を減らして曲線で仕上げました。また天板を真鍮で作成したレジ台や、巣箱をイメージしたうろこ張りの羽目板も見所です。

店内入って右手には、リノベーションの相談など座ってお話できるスペースがあります。奥の壁面にはからし色の特殊な塗装を施し、味わい深い印象に仕上がりました。上にはロフトスペースも設け、商品の展示をしています。



トリノスで扱っている 商品のご紹介

生活雑貨やグリーンを飾って楽しむ



生活に寄り添う雑貨や、置いておいたり壁に掛けておくだけでも絵になる道具をセレクト。グリーンは育てやすい小ぶりなものから、一癖あって愛着が持てるものなど、色々な場面に合いそうなものを集めています。季節ごとに変わるディスプレイにも注目。



店名にちなんで鳥モチーフのものも至る所に潜んでいます。ぜひ探してみてください。



岐阜在住の木作家『工房やす』さん手作りの木の器やカッティングボード、「一年使うと長寿になる」とも言われる縁起のいい栗の木を使ったお箸など食卓にも木の温もりを取り入れてみましょう。一点として同じものはなく、長く使い続けられるのも魅力です。

温かみを感じられる、木のもの

トリノスだからこそ、つくったかったもの

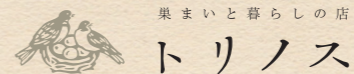
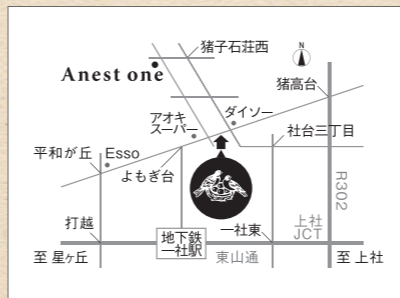
今までリノベーションに携わってきた経験を生かし、アネストワンならではのモノづくりの発信をしたいと思っています。使っていくうちに味わいが深まるような本物の素材を使用し、暮らしの中で主張しすぎず長く愛用できるものをご提案していきます。



オリジナル取手の展示・販売をしています。(長さや太さの変更もオーダー可能)これからオリジナルのスタンドグラスなども企画していく予定です。



打ち合わせスペースに置いてあるのは、床材を天板に使ったトリノスオリジナルのテーブル。今後はオリジナルの家具も増やしていきますので、楽しみに。



〒465-0091
名古屋市長区東区よもぎ台3-117 第2キャピタルハイツ1F
TEL 052-778-7244 営業時間 10:00~18:00
地下鉄 一社駅より徒歩15分 駐車場 2台
定休日 日曜日、祝日
<http://www.torenosu.com/>



オーダー家具やインテリアコーディネートについても、お気軽にご相談下さい。皆さまのお越しをお待ちしております。

築づくりの現場から



第2回
ガラス

アネストワンのリノベーションデザインで外すことの出来ない素材の1つである「ガラス」。
ガラス自体の模様や色味、どういった空間にどんな合わせ方をするのかによって印象はガラッと変わります。
今回はものづくりの現場である工房見学も含めて、ガラスの魅力をお伝えします。

1 歴史



紀元前数千年にエジプトかメソポタミアの辺りでガラスは誕生したと言われています。日本では弥生時代の遺跡から、埋葬されていた中に入っていた玉が最古のガラスと言われており、西欧ガラスが日本にやってきたのはポルトガルの宣教師、フランシスコ・ザビエルが舶来品として持ち込んだのがきっかけだそうです。
住宅用としてステンドグラスが使われるようになったのは明治・大正の頃からで、名古屋市市政資料館の中央階段室ではその当時最新鋭の技術が詰め込まれた、美しいステンドグラスを見ることが出来ます。

2 職人さんへインタビュー

Q1. ガラスの魅力はどんな所ですか？

様々な素材の中でも、光を通す透過性の高さが一番の魅力なのだと思います。またガラスを数枚組み合わせる時に、組み合わせ方が無限なのも楽しくて難しい所ですね。

Q2. 工程の中で難しい事はありますか？

実は「真っ直ぐ、寸法通りにガラスを“割る”事」が一番大変なので、長年の経験と勘を頼りに、きっちり仕上げられるように日々勉強しています。

Q3. 仕事道具の中で無くてはならないものは？

ずっと使っている道具で言えばプライヤー（ガラスを割る時に使う道具：8 ページ参照）ですかね。最近では色々な技術が進化して電動化されているものも多くなり、意欲的に新しい機械も取り入れてもっと技術を磨いていきたいです。



いつもつながるお店としてお世話になっている、ハイライツガラスの渡辺さん。工房 兼 ステンドグラス教室もこちらで開催されています。

Q4. どんな職人さんを目指していますか？

作家ではなく、あくまで職人として一生涯道を究めていきたいですね。自分でも試行錯誤をしながら、ベテランの職人さんにも技術を教えてもらいつつ、お客様の要望以上のものをつかっていきたいです。

3 工房見学



お邪魔します

最初に目に飛び込んできたのは…



色とりどりのガラスたちがお出迎え!!
ガラスの種類は質感(テクスチャー)、トーンがそれぞれ3段階ずつあり、組み合わせ方は無限大です



ステンドグラスの黒い線の部分はケイムという溝の付いた鉛の線。これがガラスを支える枠であり、補強をする意味もあります。

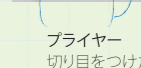


ガラスは紙を切る時のように、スパッと切れるわけではありません。図面通りの寸法にするためには、長年の経験があつてこそなのです。

仕事の時に使う道具を見せてもらいました



ガラスカッター
回転する刃と持ち手部分に入っている油を使い、ガラスの表面に切り目をつけることで割りやすくする



ケイムナイフ
ステンドグラスを作る際に必要なケイムを切るための道具

プライヤー

切り目をつけたガラスを挟み、割りやすくする。よく見ると、先端が平らな面と少し曲がった面になっている



ガラスを全て切り終わったら、ケイムで枠をつくりガラスを1枚1枚はめていきます。組んだ部分が崩れないように、ホースネイルという釘で仮止めしながら作業します。

全てのパーツが組めたら、はんだごてで接着し、最後にパテを埋めてガラスが動かないように固定します。

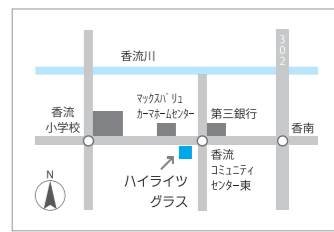
渡辺さんお気に入りのガラス



職人さんが1つ1つ手吹きでつくっているアンティークガラス。(古いガラスではなく、昔ながらの製法という意味)
独特の色合いや吹いた後の気泡、ガラスの厚みの不均一さが、これぞガラスだと思うそう。



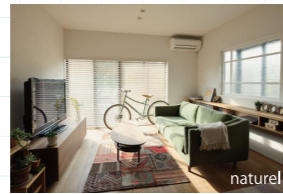
〒465-0011
名古屋市名東区山の手3-909
第1かなれマンション1F
TEL 052-799-8335
営業時間 9:30~19:00
駐車場 3台
定休日 日曜日・祝日
<http://www.high13.com/>



4 アネストワンで施工したお客様たちの取り入れ方



commune

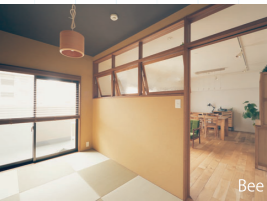


naturel

木製の内窓をつけ
空間に統一感を



lanka



Bee

程よく視線が抜ける
ガラスの間仕切り



Lafont



Noir

マンションの規約や建物の構造によりサッシを新しく出来ない時は、室内側に木製の内窓をつけるプランをご提案することもあります。リノベーションした空間の空気感を壊さずに、二重窓にすることで断熱性や遮音効果も上がります。またガラスの模様にもよりますが、外からの視線をある程度遮ってくれるので、カーテンの代わりにもなります。どんなガラスの模様や木枠の色にするかによって、印象は様々に変わります。

天井から床まで壁で完全に分けるのではなく、ガラスを使って間仕切りという方法も。ガラスによって視線が抜ける分、空間が広く感じられます。開閉式の小窓として上部に取り付けたり、数種類の模様のガラスを組み合わせてみたり、枠に色を塗装したり、楽しみ方も色々です。

建具のアクセントに



Leaf



mei



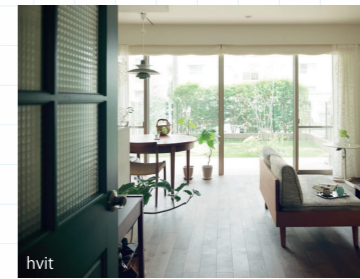
Vorspiel



Key West



HUTTE



hvit



minne

その家、その部屋の顔となる建具のデザイン。お客様それぞれの理想のイメージに合わせて、遊び心を入れたり、空間に溶け込むようなデザインにしたり、ひとつひとつオーダーメイドで仕上げています。扉の色や形、枠のデザイン、ガラスの模様の組み合わせ方は無限なので、プラン中は悩ましくも楽しい時間になるでしょう。またお気に入りのステンドグラスをお持ちの場合は、サイズやバランスを考えて空間にぴったりなオリジナル建具を作成することも可能です。(『mei』(上段真ん中)と『Vorspiel』(上段右)の施工事例は、お客様からこのステンドグラスを使いたいとプランの時に依頼頂き、世界に1つだけの建具が完成しました)

ガラスの観賞ポイント



最近ではなかなか見かけなくなりましたが、国産の型板ガラスも奥が深いんです。昔懐かしいガラスを発見したら「どんな名前なんだろう?」と調べてみるのも面白いかもしれません。(左: 歌留多(カルタ)、中: ダイア、右: ハイウェイ)

私らしい「巢まい」のかたち

アネストワンで手掛けた、それぞれの「巢まい」をご紹介します



今回のリノベーションでメインの計画となったオリジナルキッチン、腰壁を厚みや長さの違う木で囲み、凸凹とした表情に仕上げました。(タイトルのUNEVENNESSは“凸凹”目違いという意味)
スチールのフレームにステンレスのワークトップでシャープさも取りながら、温かみのある木と組み合わせることで、味のある雰囲気になりました。

UNEVENNESS

(マンションリノベーション / 名古屋市名東区 / T様邸)

建築当初はコーポラティブハウスとして、設計の段階から管理まで住人自身で行っていたマンションのリノベーション。ひとつとして同じ住居は無い面白い建物ですが、今回は新たにその物件を購入されたT様ご家族に合わせた住宅へとリノベーションしました。

素材にもこだわり、奥には何があるのかという期待感を持たせるRの漆喰壁や、足触りのよい無垢の床、キッチン横の壁面のタイルなどなど、T様のこだわりをひとつのかたちにした巢まいが完成しました。



T様ご家族の紹介

飲食店を営まれているT様は、綺麗好きなお主人とお菓子作りが趣味の奥様、ちょっと恥ずかしがりやな女の子2人の4人家族。元々仲が良いT様ご家族ですが、リノベーションしてからは家族が自然にリビングに集まるようになったそう。家事や育児を楽しみつつ、日々小さなお掃除して丁寧に暮らしていっています。





A



B



D

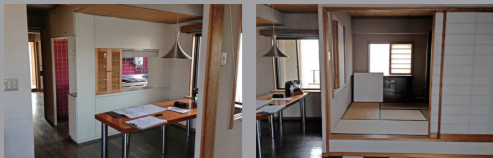


E

D: LDKと寝室の間仕切壁に少しRをつけ、優しい雰囲気。
 E: 寝室にはペールブルーの壁紙を1面のみ貼りました。F: 洗面所のこだわりポイントは、扉や引き出しをあえて取り付けずオープンにしたこと。空間を空けることで軽い印象になり、空いたスペースにお子様用のイスも収納でき、お掃除もしやすいそうです。G: 床をモルタルで仕上げた玄関。家族でお出かけする時も、並んで靴を履けるくらいゆったりした広さです。

Before

物件探しを始めた頃、ちょうど知り合いの方から「この物件買わない？」と紹介してもらったのが今の所でした。実際見に行くとリノベのやりがいがありそうだと思う、この物件に決めました。



C

A: リノベーション前は間仕切りで全体的に覆われて暗い印象だったキッチン。間仕切りを取り払いアイランド型にして、LDKのメインになりました。B: 奥様のご希望で、キッチンの裏にパントリーを設けました。キッチンで使いたいものをたくさんストックでき、すぐに取りにいけるので便利。C: 元々あった小上がりの和室を壊し、段差をなくして広々とした空間に生まれ変わりました。



F



G

物件データ

 所在地: 名古屋市名東区
 種別: マンション
 専有面積: 97㎡
 施工面積: 70㎡
 建築年: 1986年
 施工期間: 2ヶ月





brownie

マンションリノベーション / 名古屋市瑞穂区 / K様邸

A



B

A:こだわりがたくさん詰まったキッチン。元々K様が持っていたペンダントライトとキッチン背面のグリーンのタイルの色味がピッタリ。 B:リビングの壁一面に貼ったブリックタイルは、住んでいく内に段々と風合いが出て来そう。黒の小窓も良いアクセントになっています。



K様ご家族の紹介

30代共働きのご夫婦で、ご主人はカフェを経営されています。インテリアに関してのこだわりも強く、どちらかだけでなく2人がいいと思ったものをセレクトされているのだそう。共通の趣味である海外ドラマを、時間が合う夜にゆっくりと鑑賞しながら、暮らしを楽しまれています。

瑞穂区の閑静な住宅街の中にある低層マンションを購入されたK様ご夫婦。お仕事をお家でされる事もあるので造作デスクを設け、収納スペースも増やして片付けやすい間取りに。インテリアは無垢フローリングや造作家具の木とブリックタイルの“ブラウン”をベースにコーディネート。キッチンにはピピットな緑や青の個性的なタイル、リビングには黒の小窓など、ご夫婦のこだわりをたくさん散りばめた楽しい空間にリノベーションしました。

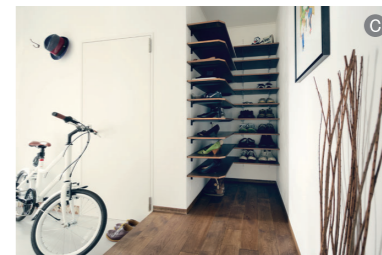
Before



アネストワンで紹介させて頂いたこの物件の立地や環境を気に入られ、購入されました。リノベーション前はキッチンまで日が届かず、全体的に薄暗い印象でした。

物件データ

所在地:名古屋市長区
種別:マンション
専有面積:68.4㎡
施工面積:56.8㎡
建築年:1979年
施工期間:2ヶ月



C

C:廊下にもリビングと同じ無垢フローリングを敷き詰めました。玄関スペースには可動式の棚板を取り付け、靴の量や高さに合わせて調整可能です。 D:寝室の扉は明るめのモスグリーンに塗装。本好きなお主人のため、たっぷり収納できる本棚を寝室に造りつけました。



D



物件データ
 所在地:長久手市
 種別:戸建
 延床面積:108.72㎡
 施工面積:73㎡
 建築年:1982年
 施工期間:2.5ヶ月

RENTO (戸建リノベーション / 長久手市 / T様邸)

小さなお子さんを2人持つご家族のための戸建リノベーション。設計にあたり「清潔感よりも、生活感!」というキャッチフレーズを与えて下さり、見せたくないものを収納できる箇所と程よい生活感を醸し出す箇所とをつくりました。墨色の床材、漆喰壁、洗い深緑のキッチンのタイルなどを使うことで、少しでも古民家をイメージさせるような空間に。さらに今回は主に、みんなが集うリビングを中心に間取りを変えながら、同時に断熱性能も上げました。

T様ご家族の紹介

30代共働きのご夫婦と、2才の女の子、1才の男の子の4人家族。ご主人は音楽やカメラ、バーベキュー、奥様は庭いじり、お菓子作り、アロマ、ヨガなど、ご夫婦共に多趣味です。家族や友人が集う家で、会話や季節感を楽しみながら暮らしていらっやいます。



きょうはなにをかこうかなあ...



ご夫婦2人とも古いものがお好きなので、プラン時には古民家をイメージしてなるべく濃い色味の部材を選ぶようにしていたそう。キッチンの壁に貼った洗い深緑のタイルが、レトロな雰囲気を出しています。

音楽好きなご主人のため、レコードの大きさに合わせたDJブースを造りつけました。よく友人を招いてパーティーもされるそうで、このスペースが大活躍なんだとか。



Before

既にそこにあるものに少し工夫を加えて暮らしたいと考えていらっやったT様。ネットで見つけたこの物件は、庭の広さ、立地、価格が許容範囲内だったことが決め手になったそうです。



構造上取り外しが出来なかった筋交いは表しにして、LDKそれぞれのスペースを程よく仕切ってくれる存在に。今まで奥様が集めてきた古道具もじっくり馴染む、温かくて味わいのあるT様らしいお家に仕上がりました。



liens

マンションリノベーション / 名古屋市昭和区 / K様邸

産まれたばかりのお子さんを持つ、3人家族のためのリノベーション。ご主人はご自宅でお仕事をされる事も多いため、リビングの一角を本に囲まれた書斎スペースとしました。そのすぐ隣は、将来お子さんと一緒に並んで勉強が出来るようひとつながりの大きなカウンターを造り付けで製作。カウンター前の壁をモルタル塗りにして、空間にアクセントをつけています。また窓際に床から 30cm ほど上がった小上がりを設けて、特別感のある落ち着いたスペースになりました。



A: お子さんのお昼寝スペースや奥様の休憩場所として使っている、窓際の小上がり。床と同じ無垢のフローリング材でガルトと囲んでいます。B: 本棚はリビング側と、奥に見える書斎側の両方から使えるようになっています。収納量もたっぷり。

K様ご家族の紹介

IT企業に勤務されるご主人と、今はお休み中ですが以前バンドでキーボードを弾いていた奥様、そしてプランの時はまだお腹の中にいた女の子の3人家族。仕事に育児にと忙しい日々ですが、この家に引越してから、以前よりも丁寧に暮らしを楽しむようになったそうです。



物件データ

所在地: 名古屋市昭和区 種別: マンション
専有面積: 87.69㎡ 施工面積: 87.69㎡
建築年: 1985年 施工期間: 1.5ヶ月

moderat

戸建リノベーション / 名古屋市昭和区 / T様邸

駅からも近くアクセスが良い場所でありながら、周辺は住宅街のため静かな環境にあるT様のお宅。元々施主様のご実家であったこの家を、1階は子世帯のご家族、2階はお母様と妹さんが暮らしやすいよう二世帯住宅へとリノベーションしました。断熱工事をして建物性能を向上させ、自然素材をふんだんに使いナチュラルで居心地のよい空間に生まれ変わりました。お互いに程よい距離感を大切にしながらも、楽しく賑やかに暮らしていらっしゃいます。



A: リノベーションしてLDKにした部屋は、元々二部屋和室が続いていた間取りでした。細かく区切っていた壁を取り払い、部屋の隅々まで光が届くようになりました。B: キッチンにアクセントで黒板塗装をセレクト。共有したい情報などはここで確認できます。



T様ご家族の紹介

音響のお仕事をされているご主人、マルシェや陶器市に行くのが好きな奥様と、いたずら好きで遊び盛りのKくん、そしてご主人のお母様と妹さんの5人暮らし。T様ならではの「二世帯で暮らすコツ」は、「ルールを決めすぎないこと」なんだそうです。



物件データ

所在地: 名古屋市昭和区
種別: 戸建
種別面積: 166.59㎡
施工面積: 101㎡
建築年: 1992年
施工期間: 3ヶ月

リノベーションの始め方

アネストワンではリノベーションを考えている方に向けて、このような形でサポートしています。イベントなどの詳しい情報はホームページにて随時更新しておりますので、ぜひ一度ご覧下さい。

○リノベーション相談会で詳しく聞く



理想の住まいや暮らしについて一緒に整理しましょう。毎週土曜日に開催しておりますが、平日でも受付可能ですのでお気軽にご相談下さい。
【事前に日時をご予約の上お越し下さい】

○ちゅこリノ勉強会に参加する



中古物件購入+リノベーションをお考えの方を対象に勉強会を開催しています。リノベーションの基本的なことから物件探しのコツ、資金計画についてなど、スライドで分かりやすく解説いたします。

○「ちゅこリノ講座」でさらに詳しく学ぶ

アネストワンでは、リノベーションの過程をより詳しくお伝えするために、『ちゅこリノ講座』を開催しております。理想の暮らしを具体的にイメージしたり、実際にものづくりの現場へ足を運び体感して頂き、私たちと一緒に学びながら、自分たちらしい家づくりをしていきましょう。
【※詳しくは相談会にてご案内しております】

ちゅこリノ講座

- ・『夢ノート』ワークショップ
- ・施工中現場見学会
- ・OB宅訪問見学会
- ・工房見学会
- ・『夢ノート』完成お披露目パーティー



ご希望の方には…

ファイナンシャル プラン相談会

ファイナンシャルプランナーが暮らしに関わる様々な費用を算出しながら、自分たちが一体どの位の家を持つのかを分かりやすくアドバイスします。

リノベーションSTART!!

物件探しやローンの審査についてのサポートや、現地へ同行して物件の調査をいたします。実際に物件が決まったら、これからの暮らし方をお話し、その内容を基にプランの提案をさせていただきます。

経年してこそ価値のあるもの。

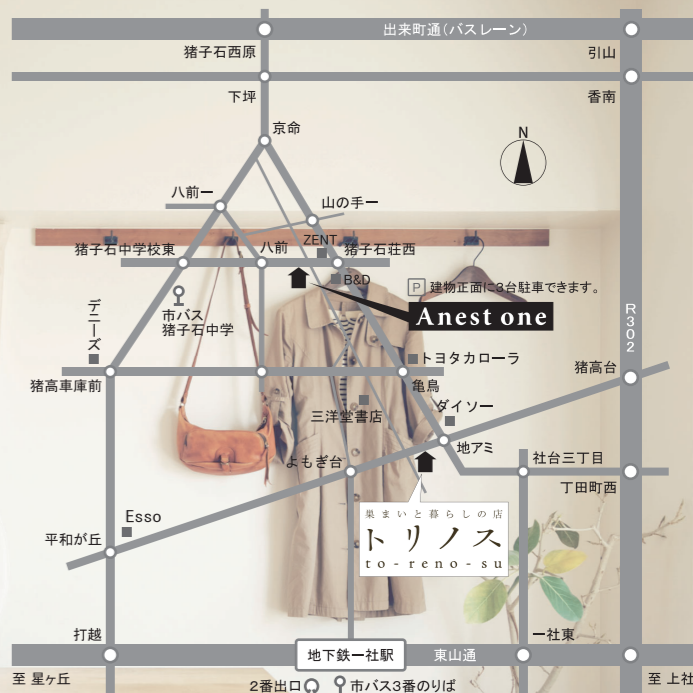
味のあるものが好きだ。
空間にしても、家具にしても、靴、カバン、食器…
様々なものに対してその感覚はいつもあります。
経年とともにあめ色に変色した木であったり、
当時のレトロなタイル、錆びついた小さなドアノブ…。
そんな、時を経るほど、味わいや奥行きが出てくるようなモノたちに
本当に魅力を感じます。

そういったモノの中に共通することは、「本物」だということ。
例えば家具に関していうと、
引っ越すたびに買い換えるようなものではなく
時を経ても色褪せない、子供にも譲れるようなものにこそ
価値があると思います。

それは、アネストワンのリノベーション空間にもいえることです。

アネストワンの考えである、「心地よく・本物で・温かみのある空間」
の提供はそんな考えのもと、生まれました。
奇抜さやスタイリッシュさではなく、流行にとらわれず
長く使い続けることで、より味わいが出てくるような
素朴であたたかな空間の提供。
本物の素材を使い、時を経ても色褪せない
時を経るほど奥行きを増していく空間デザインを提案しています。

暮らしの味と暮らし『トリノス to-reno-su』 2015年秋・冬号 2015年10月1日発行 発行人: 青山信春 編集: アネストワンスタッフ



Anest one 株式会社アネストワン

〒465-0018 名古屋市名東区八前2-713 (※ご来店の際は事前に日時のご予約をお願いします)
[公共交通機関ご利用の場合…地下鉄東山線一社駅下車。市バス3番のりば、猪子石中学下車。
猪子石中学東の交差点を東に徒歩約5分。]

巣まいと暮らしの店 トリノス to-reno-su

〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台3-117 第2キャピタルハイツ103
[公共交通機関ご利用の場合…地下鉄東山線一社駅下車。北へ進み、よもぎ台の信号を右折。
一社駅から徒歩約15分。(アネストワンから徒歩約10分)]

株式会社 アネストーン

アネストーン一級建築士事務所

〒465-0018 名古屋市名東区八前2-713

Tel: 052.777.2441

Fax: 052.777.2647

Mail: mail@anestone.com

Url: www.anestone.com

愛知県知事許可(般-25)第102480号

■ リノベーション・デザインリフォームの設計・施工
[マンション・戸建・店舗・オフィス]

■ オリジナルキッチン・家具のデザイン・製作

■ 注文住宅設計・施工



詳しい施工事例はホームページにて

アネストーン

検索

<http://www.anestone.com>

お問い合わせは右記フリーダイヤルまで
9:00～18:00 定休日:日曜・祝日



0120-65-2441

暮らしを、つなぐ。

Anestone

アネストワンの施工エリアは原則として、オフィスから車で30分圏内とさせて頂いております。お客様と未永いお付き合いとアフターメンテナンスを行っていく為にも、エリアを限定しております。色々なケースがありますのでエリア近郊の方はお問い合わせ下さいませ様よろしくお願致します。(詳しくはアネストワンのホームページ『施工エリア』をご覧ください。)